

2013年10月10日
伊藤忠商事株式会社
食品流通部門食品開発部
リテール商品開発課

～パンひとつで一日の約1/3のカルシウム！～
国内初 牛乳一本分のカルシウム入りパンシリーズ
2013年10月15日(火)より全国で発売開始！

伊藤忠商事株式会社(東京都港区、社長 岡藤正広、以下「伊藤忠商事」)は、2013年10月15日(火)より発売される「牛乳一本分のカルシウム入り」パンに、“製パン専用カルシウム強化原料”を提供します。“製パン専用カルシウム強化原料”は、国内では伊藤忠商事が初めて供給する原料です。また「牛乳一本分のカルシウム入り」パンは厚生労働省が実施する Smart Life Project(※1)に賛同した商品で、全国で販売予定です。

■カルシウム不足の日本

カルシウムは日本では厚生労働省が推奨量を設定している栄養素のうち、すべての年代と性別において実際摂取量が推奨摂取量を下回る栄養素です。カルシウム不足は、成長期においては骨や歯の形成障害を引き起こし、高齢期においては骨粗しょう症のリスクを高めます。骨粗しょう症は、運動器の働きが衰え、介護が必要になる可能性が高い状態であるロコモティブシンドローム(運動器症候群)の原因にもなります。

■新原料により美味しさと健康サポートを両立

従来のカルシウム原料は発酵・食感を阻害するためパンへの配合が困難でした。本商品シリーズでは伊藤忠商事が独占代理権を取得し、国内で初めて供給する“製パン専用カルシウム強化原料”を使用することで、ふっくらとした食感と美味しさをそのままに、日本人に不足しがちなカルシウムが牛乳一本分(200ml)相当(227mg)を含まれたパンをお届けします。「牛乳一本分のカルシウム入り」パンシリーズは、重要な栄養素であるカルシウムを日頃から気軽に取り入れていただくために最適な商品です。

なお、本商品の第一弾は全国のファミリーマート店舗(北海道を除く)、サークル K 店舗、およびサンクス店舗で販売予定です。第二弾以降も、「牛乳1本分のカルシウム入り」パン商品はバラエティ豊かな商品を展開してまいります。



牛乳一本分のカルシウム入りパン 第一弾のラインナップ

◆ファミリーマート店舗での第一弾ラインナップ

・ふんわりミルクブレッド ¥110(税込)



・レーズンブレッド ¥110(税込)



◆サークル K、サンクス店舗での第一弾ラインナップ

・もちっとつぶあんドーナツ ¥110(税込)



・熟成たまご蒸しケーキ ¥105(税込)



「牛乳一本分のカルシウム入り」のロゴマークについて



このマークは伊藤忠商事が商標登録を出願している共通ロゴです。
このマークがついている全ての商品に、カルシウムが牛乳1本分に相当する227mg(「日本食品標準成分表 2010」に基づく)が含まれています。
売り場でぜひ目印にしてみてください。

※1)

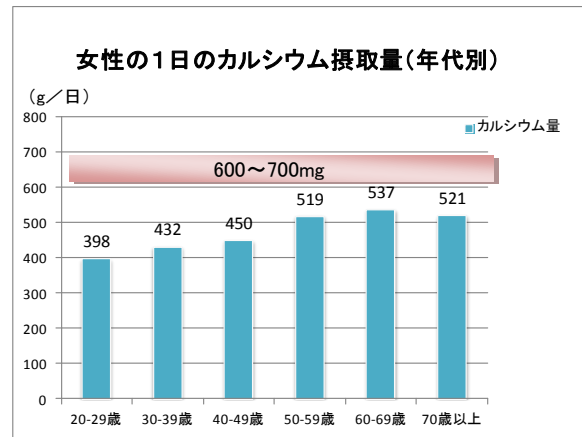
Smart Life Project は「健康寿命をのばそう！」をスローガンに、国民全体が人生の最後まで元気で健康で楽しく毎日が送れることを目標とした国民運動です。「運動」、「食生活」、「禁煙」の3分野を中心に、具体的なアクションの呼びかけを、参画する企業・団体・自治体と協力・連携をしながら推進するプロジェクトです。



■日本人女性は慢性的なカルシウム不足！

成人女性が1日に必要なカルシウム摂取量は、600～700mgといわれています。しかし成人女性の1日当たりの平均カルシウム摂取量は489mg(※)と不足気味。更に各年代別に見ると**20～29歳の若い年代で大幅に不足している**ことが分かります(右図)。

女性はもともと、男性と比較すると体内の骨量が少ないためカルシウム不足の影響が骨に出やすいと言われてます。また、いったんスカスカ状態になった骨は立ち直りにくいという特徴があります。

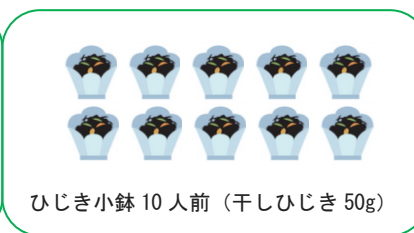


※平成23年国民健康・栄養調査結果(厚生労働省)に基づき作成

■1日に必要なカルシウム量は・・・

「牛乳3.1杯」「ひじきの煮物10人前」「とうふ2丁」！

1日に必要なカルシウムを食事から取ろうとした場合、牛乳だと3.1杯(620ml)、ひじきの煮物10人前(干しひじき50g)、豆腐だと2丁(600g)もの量が必要になります。



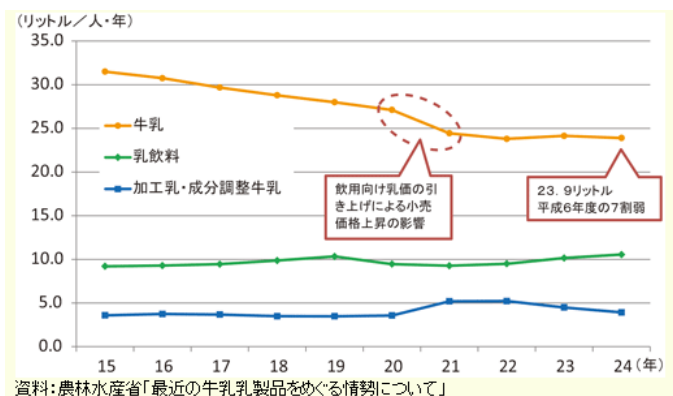
※五訂増補 日本食品標準成分表(文部科学省)に基づき作成

■カルシウム食品の代表格“牛乳”は2013年10月から値上げへ！

牛乳の1人当たりの年間消費量は、平成24年度に23.9リットルとなり、ピーク時の平成6年度(34.7リットル)から**18年間で3割以上減少**しています。

また、今年2013年度10月出荷分からの**牛乳の価格を引き上げることを乳業大手が発表**しており、ますます日本人の牛乳消費量は減少することが予想されています。

カルシウム源の代表格とも言われる牛乳に替わる“カルシウム補給源”に今後注目が集まりそうです。



インタビュー対応可能

■伊藤忠商事(株) 食品開発部リテール商品開発課 カルシウムパンプロジェクト担当者

“製パン用カルシウム強化原料”を扱うに至った経緯、開発スタート時・開発段階でのエピソード、各商品のコンセプト等のご質問にお答えします。ご取材希望の方は下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。